

放課後児童クラブ (入所の概況)

○入所児童は増加傾向

少子化により児童数の減少が続く一方、放課後児童クラブ入所者は約1,000人、10年前と比べ51%も増加しています。さらに、夏休みは一時利用に伴い1,300人程度が予想されます。

○特徴

1年生は約2人に1人の割合、全体でも4人に1人の割合で放課後児童クラブに入所しています。

○事業の重要性

共働き世帯等の増加により、子育てと仕事の両立を支える本事業の重要性が増しています。

放課後児童クラブ入所児童の推移(各年5月1日現在)

	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R元	学年 別入 所率
1年	212	229	205	227	237	257	228	248	266	266	46%
2年	203	187	211	187	210	225	233	216	236	259	44%
3年	183	160	154	171	154	170	176	191	168	212	35%
4年	26	39	45	77	95	91	112	132	141	115	19%
5年	13	10	18	25	41	58	60	71	66	89	15%
6年	8	8	9	12	12	23	29	33	35	32	5%
計	645	633	642	699	749	824	838	891	912	973	26%
小学生	4719	4621	4438	4345	4225	4074	3992	3851	3785	3689	
全入 所率	14%	14%	14%	16%	18%	20%	21%	23%	24%	26%	

(小1の壁)

放課後児童クラブの預かり時間が短く、また、夏休み・春休みの対応が負担となること、さらに、職場の理解が得られずらいなどから、保育園時代よりも子育てと仕事の両立が難しくなって、子供の小学校入学を機に仕事を辞めたり、働き方を変えざるを得ないという問題があります。とりわけ、女性の社会進出やキャリア形成を阻害する大きな要因と言われています。

放課後児童クラブの充実に向けた取組 (待機児童ゼロを継続し、児童の健全育成を促進します)

現状と課題 (運営体制の整備)

○人材の確保

入所児童の増加に対応した支援員等の確保が喫緊の課題となっています。

・人材派遣により急場をしのご状況です。

○細やかな対応

各クラブに運営の中心的役割を担う支援員等の配置がありません。よりきめ細やかな運営のために配置が必要です。

○安定的運営の体制整備

支援員等の採用から研修、資格取得、スキルアップなどトータルな人事管理を行うなど、事業の推進体制の充実が課題となっています。

新たな取組 (民間ノウハウの活用・運営体制の強化)

○民間ノウハウの活用

民間事業者の人事・人材育成などのノウハウを活用した運営体制に転換します。(支援員等の採用・配置等を民間事業者が行います。)

○運営業務を委託

民間事業者に運営を委託して事業推進体制を強化します(令和2年4月)。

○市の役割

入所の受付・承認、負担金業務、事業者の指導などはこれまで通り市が行い、事業全体の管理を行います。

放課後児童クラブ運営業務の委託に向けた スケジュール

時期	取組事項
2019年9月	関係予算案の提出・審議
2019年10月～11月	保育ルーム運営業務委託事業者の決定
2019年12月～2020年3月	民間事業者による運営業務の準備作業
2020年4月	民間事業者による保育ルーム運営業務を開始